

「ホワイト物流」推進運動  
持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

|             |       |     |     |       |                            |
|-------------|-------|-----|-----|-------|----------------------------|
| 企業・組合名      | 役職    | 氏名  | 所在地 | 主たる事業 | ホームページ                     |
| 株式会社粘土科学研究所 | 代表取締役 | 手塚平 | 東京都 | 製造業   | https://nendokagaku.co.jp/ |

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

|       |  |
|-------|--|
| 最終更新: |  |
|-------|--|

- (取組方針)
- ・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。
- (法令遵守への配慮)
- ・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。
- (契約内容の明確化・遵守)
- ・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

| No. | 分類番号 |   | 取組項目           | 取組内容                                                                 |
|-----|------|---|----------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1   | A    | ① | 物流の改善提案と協力     | 主要取引先物流会社と定期的な情報交換を実施し、パレット単位での納品に切り替えたり、混載便の提案を受け入れることで効率的な配送体制を構築。 |
| 2   | A    | ⑧ | 出荷に合わせた生産・荷造り等 | 出荷日直前の詰め作業を避け、出荷前日までに梱包完了を基本とする内規を整備。出荷に余裕を持たせて積込待機を防止。              |
| 3   | A    | ⑩ | リードタイムの延長      | 顧客に対し「翌日配送」→「3営業日以内出荷」への変更を提案。小ロット製造と合わせ、余裕ある製造・配送体制を実現。             |
| 4   | B    | ① | 運送契約の書面化の推進    | これまで口頭やメールで行っていた配送依頼を、契約書または業務委託書に明文化。取引条件・責任範囲を明確化し、トラブル回避。         |
| 5   |      |   |                |                                                                      |
| 6   |      |   |                |                                                                      |

|     |  |
|-----|--|
| PR欄 |  |
|-----|--|